



大花羽小だより

教育目標 **自ら学び、心豊かで、たくましく**
未来に羽ばたく子供の育成

第12号 令和4年3月2日 発行 文責：西山 力(校長)



新たなステージに向けて！

2月は、新型コロナウイルスが日本国中で猛威を振るう中で、オンラインでの学習や制限の多い中での教育活動となりました。また、授業参観・学級懇談の日程を変更した中で中止となり、保護者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。

学校での感染対策（手洗い、消毒、うがい、マスク、黙食等）については、これまで通り徹底していきますので、ご家庭でも引き続き感染対策をお願いいたします。

さて、3月は、卒業という6年生にとって、大きな節目を迎えます。中学校という新しいステージに巣立っていきます。これまで育て支えてくれた人々への感謝をもつとともに、なりたい自分に挑戦できる力「やってみよう！」を身に付けて卒業できるよう、全職員で取り組んでいきます。また、在校生は、学校を牽引してくれた6年生を感謝の気持ちで中学校へと送り出せるような活動を取り入れるとともに、この1年間に生活、学習したことのまとめを行い、新たな気持ちで進級できるようにしていきます。保護者、地域の皆様、温かいご支援ご協力をお願いいたします。

プログラミングオンライン教室

近隣のプログラミング教室の先生を講師に迎え、オンラインでビジュアルプログラミングの使い方を教えていただきました。簡単なゲーム作りに取り組み、楽しく学びながらプログラムを作ることができました。



なわとび集会

休み時間に一生懸命に練習してきた成果を生かし、自分で決めた時間跳びや種目跳びの目標記録にチャレンジしました。「がんばれ！」の声援や拍手が沸き起こる中、頑張る姿が見られました。



2回目のオンライン学習

新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い、2月14日(月)～18日(金)がオンライン学習になりました。児童はタブレットの使い方に慣れ、振り返りや解答を個人のシートに入力したり、作品や提出物の写真を撮って送信したりと、上手に活用しています。デジタル教科書やワークシートを使い、工夫して学習を進めました。



本校教育に関するアンケート結果

学校アンケートへのご協力、ありがとうございました。2回のアンケート結果をもとに全職員で課題を分析し、改善策について話し合いました。一部設問については、「統合の不安と子供たちの心のケアについて」「印刷物を最小限にし、HPを見ることで印刷代や職員負担を低減できること」等をご記入いただきました。

りますが、結果報告をさせていただきます。ご意見欄では、「統合の不安と子供たちの心のケアについて」「印刷物を最小限にし、HPを見ることで印刷代や職員負担を低減できること」等をご記入いただきました。ご意見、ご質問等がございましたら、お問い合わせください。また、これらを今後の教育活動に生かしてまいりたいと存じますので、今後ともご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学校評価アンケートより 児童・保護者・職員三者比較と課題・改善策（課題が見られる項目を抜粋）

	児童	保護者	職員
第一回	<p>1. あなたは、おうちでテストに向けてがんばっていますか？</p>	<p>1. お子さんは、学力の定着に向けて計画的に学習している。</p>	<p>1. 月例テスト、単元テストに向けて計画的に練習と復習を行うことができましたか？</p>
第二回	<p>1. あなたは、おうちでテストに向けてがんばっていますか？</p>	<p>1. お子さんは、学力の定着に向けて計画的に学習している。</p>	<p>1. 月例テスト、単元テストに向けて計画的に練習と復習を行うことができましたか？</p>

・宿題の出し方 ・できるようにしてからテストをしてほしい ・月例テストの計画はできている。範囲・予定はなるべく早めに。
 ・単元テストが低い。一テストの予定を予定表に入れる。その範囲のプリントを繰り返し練習 指導書のワークテストを宿題で2～3回出す。
 ・一宿題の量を増やす方向で検討 授業後、1週間て宿題で学習。そしてテストする。

・数値が上がって、改善されている。
 ・保護者：計画的に子供が自分からやっているか、で評価が低いのでは。自主学習の計画の時間を取ってあげる。家庭学習カードの学習内容のところに1週間の予定を立てさせてはよいか。枠の変更も。音読カードを分けてはどうか。

	児童	保護者	職員
第一回	<p>10. あなたは、おうちで「さん」を付けてよんでいますか？</p>	<p>10. お子さんは、友達と仲良く生活している。</p>	<p>10. 児童を「さん」つけて呼んでいるか？</p>
第二回	<p>10. あなたは、おうちで「さん」を付けてよんでいますか？</p>	<p>10. お子さんは、友達と仲良く生活している。</p>	<p>10. 児童を「さん」つけて呼んでいるか？</p>

・教師間で、児童を「○○さん」と呼ぶ場面やなぜ「○○さん」と言わせる意図が不明確なので、教師間で共通理解を図り、相手の気持ちを理解させる指導をしていく必要がある。
 ・「○○さん」と呼ぶように指導していく。教師側も区別や差別につながらないように意識・徹底していく。
 ・オアシスハコサ運動は、引き続き意識させるとともに、目の届く場所に掲示しておく。
 ・仲良く生活していないと感じている児童がいることを念頭に、日々の指導を行っていく。
 ・家庭での約束やきまりについて、考えさせる場を道徳や学活等で作る。家庭との連携を図り、保護者の困ったことを共有していく。

<課題>友達を「さん」づけで呼んでいない児童が多い。1学期から改善されていない。児童自身が「さん」づけでいうべき場面と、プライベートな場面を使い分けられていない。 家庭での約束やきまりを守れていない児童が増えている。
 <改善策>改めて学級での「さん」づけでの指導を行う。公私での「さん」づけの区別ができるように学級指導する。
 校長先生の講話などで「さん」づけで呼び合うを「やってみよう」と呼び掛けてもらう。
 学級懇談会などで、「お子さんが家庭での約束を守れているか」についての話をする。児童にもお家の人との約束も守ろうと指導する。

	児童	保護者	職員
第一回	<p>17. あなたは、たいへん忙しなかろうかとお感じに思っていますか？</p>	<p>17. お子さんは、体育の授業や外遊びに楽しんで取り組んでいる。</p>	<p>17. 児童が楽しいと思えるような体育の授業を心がけ、工夫することができたか？</p>
第二回	<p>17. あなたは、たいへん忙しなかろうかとお感じに思っていますか？</p>	<p>17. お子さんは、体育の授業や外遊びに楽しんで取り組んでいる。</p>	<p>17. 児童が楽しいと思えるような体育の授業を心がけ、工夫することができたか？</p>

・今年度の体力テストA級とB級の合計が、本校は45.8%だった。全国平均が50%程度、茨城県の平均が60%程度なので、少し低い。本校では、毎日、登下校でかなりの距離を歩く児童が多いので、持久力はあるが、瞬発力や投力は相対的に低い。体育の授業だけでなく、休み時間や縦割り班活動などで、意識的に、瞬発力や投力が高まるような活動を、短時間でもいいので入れることが大切である。運動場にロープでドッジボールのコートを作っておいて、児童がいつでも使えるようにしておく。新聞紙やスポンジでできたボールを用意して、投げる習慣をつけさせる。体育の授業の最初に、遊具を使ったサーキットトレーニングを取り入れて、瞬発力を高める。こういった活動は一部であるが、瞬発力や投力を高める活動をいろいろな場面で長く取り入れることで、本校の体力テストの結果もよくなっていくと思われる。児童や保護者の回答で、体育の授業や外遊びに進んで取り組んでいると思うという答えが8割から9割弱あった。本校の児童の多くは、業間休みや昼休みに運動場で元気に遊んでいる。とても素晴らしいことなので、今後も続けていきたい。

課題・改善策
 ・体育の授業では、飯田先生と協力し毎時間児童が楽しい授業を実施することができた。体育大好き推進事業は今後も継続していただきたい。
 ・業間や昼休みに積極的に外で遊んでいる児童が増えた。本校児童は外で遊ぶ児童が多い。縦割り班遊びも計画的に実施することができた。職員と一緒に遊ぶようにしていきたい。
 ・持久走大会やなわとび大会に向けて業間や昼休みに積極的に練習している児童の姿が多くみられた。持久走大会では、見学者以外全児童が最後まで完走することができた。今年度は練習時間が短かったので、記録に挑戦できるよう、次年度は計画的に実施するようになりたい。
 ・体力テストA+B目標には届かなかった。花小ランの復活、縦割り班遊び、柔軟、投力アップできるような工夫をしていきたい。